

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ダイクレ興産株式会社 めっき事業所

(2) 事業所の所在地

広島県呉市昭和町7番10号

(3) 業種

2462 溶融めっき業(表面処理鋼材製造業を除く)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度から令和8(2027)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1.基本的な考え

ダイクレ興産株式会社は地球環境・地域環境の保全に配慮した環境にやさしい事業活動を通して社会的責任を果たすことにより、持続可能な社会づくりの実現に貢献します。

2.方針

- 環境保護に関する法律、条例を遵守する。
- 省資源、省エネルギー、リサイクルに取り組む。
- 廃棄物、CO2の排出を抑制する。
- 環境・安全に関する取組を推進する。
- 環境方針を全従業員に周知させる。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ 25 ）年度	令和（ 25 ）年度
二酸化炭素	3,675	3,675

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF6 NF3 ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産量(t)**

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (25) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (8) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	3,675	30,879	0.12	8.3	2,900	26,000	0.11
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k 1)	-	-	0.05366	8.3	-	-	0.04918
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	原油換算5K1/年の削減	加温用ボイラー運転時間の削減
2	燃料使用量の削減	原油換算5K1/年の削減	溶融亜鉛燃焼装置の保温時の温度管理
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

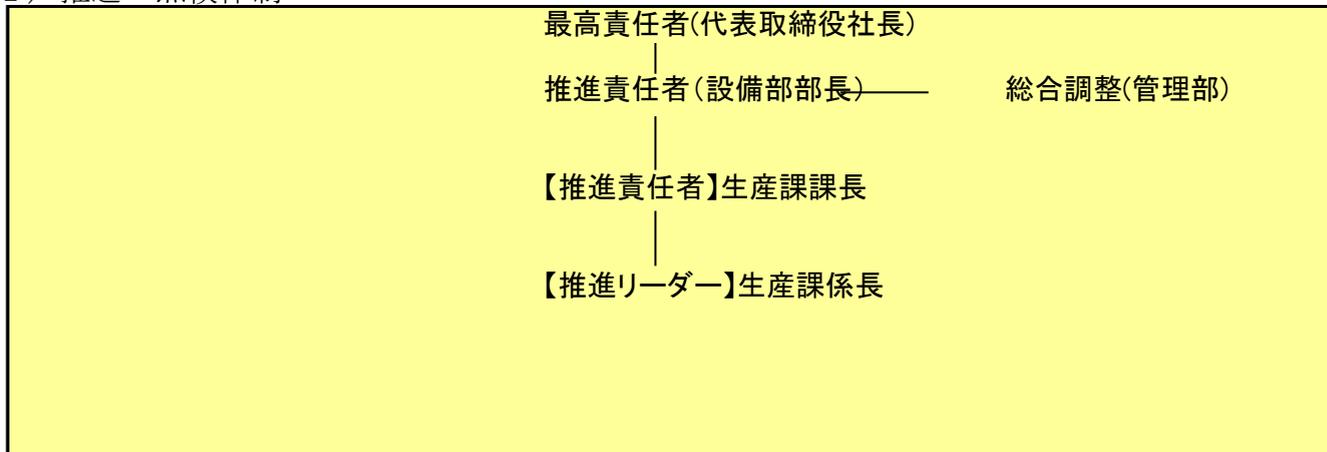
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	証明の管理		休憩時間中の不要な照明の消灯
2	空調機器の管理		空調機器の時間帯別温度管理の実施
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

管理部を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境対策連絡会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

会社内のサーバー上で計画書を閲覧できるようにする。